

世界へのプレゼントになろう  
Be a gift to the world

RI会長 K.R.ラビンドラン

まるがめ

## 週報

 会員数 59名 出席者47名・欠席者10名・免除会員4名  
 欠席者 秋山恒・麻田・和泉清・和泉享  
 松山・森・中西・中野昌・岡田・陶國-会員

前々回出席率 85.18%(1/28)

 2016.2.18  
Vol.53  
No.31  
(2600)

## MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

 会長 大西 和彦  
 幹事 齋賀 護  
 会報委員長 曾川 泰廣

## お知らせ

- ∴ 2月のプログラム  
4 (No.1)-IM報告  
11 (No.2)-休 会  
18 (No.3)-クラブフォーラム  
25 (No.4)-クラブフォーラム
- ∴ 他RC例会変更  
丸亀東RC 2/16 ホール大会

- ∴ ニコニコBOX;  
長男に孫が誕生して  
山田君  
ハーフマラソン完走しました  
尾崎君

&lt;ニコニコ会計累積/¥342,000&gt;

- ∴ がんばるBOX;  
出席できなくて  
池田君 橘君  
早退します  
小山君 善勝君  
天野君 中川君  
米寿を祝う会お世話になりました  
大熊君  
丸亀ハーフマラソン応援  
ありがとうございました  
富田君  
本日遅刻、来週も遅刻します  
大西君  
母の四十九日が終わりました  
その節はありがとうございました  
福田君

&lt;がんばる会計累積/¥264,440&gt;

例会場・事務局

丸亀市塩飽町50-3 丸亀プラザホテル内

## ■会長挨拶

会長が急遽不在と言うことで、心の準備が出来ぬままお話をさせていただきます。先日の新聞に夭折の天才棋士 村山聖 九段のことが載っておりました。病魔に魅入られ、A級在籍のまま29歳で他界致しました。羽生名人より1歳年長で公式戦は村山の6勝7敗でほぼ互角、天才の呼び名も誇張ではなく、その生涯が映画化されるとのことです。臨終の床でも棋譜を誦んでいたとの事。私自身も学生時代 将棋に没頭した時期があり、初めて参加した香川アマ将棋戦で、準優勝したことがあります。故升田名人の棋風が好きで、升田式石田流三間飛車の急先鋒が功を制したようです。もう何十年も将棋はしておりませんが、あの時間違えて優勝していれば、ロータリアンになる事もなく違う人生を歩んでいたかもしれません。

## ■幹事報告

- ①地区大会の登録をお願いします
- ②中野昌一会員より満中陰志のお菓子が届いております

## ■委員会報告

- ①尾崎青少年奉仕委員より「ミニバスケット」の報告
- ②富田会員より丸亀ハーフマラソンの報告

## ■例会事業：クラブフォーラム；国際奉仕委員会石合委員長

パスポートすら持っていませんが国際奉仕委員の石合です。

まず、ロータリーの国際奉仕の歴史的経緯についてです。初期のロータリーは国際奉仕の概念はありませんでした。アメリカから世界規模でロータリーが広がっていくに伴い、1917年当時アーチフランク会長は、全世界的規模でよいことをしようではないかと提案して「アーチ・フランク基金(現ロータリー財団)」を設立しました。当時のアメリカ大統領セオドアルーズベルトは、「ロータリーのような団体の持っている理念を信じる。ロータリーを組織するような人々の交流は、確実に相互理解を深めるに違いない。」というメッセージを贈り、ロータリアン同士の国際交流を讃えています。

また、国際奉仕の大義である世界平和を実現するために、ロータリーが関与した活動として、国連の設立と国連憲章の制定があります。RI(国際ロータリー)から11名の顧問団が、世界各国の代表のうち、7名の委員長と20名のロータリアン、代議員を合わせると実に49名が会合に参加しました。

のち1962年アジア初のRI会長インドのニッティシ・ラハリーは「世界のどこか片隅に、一人でも不幸な人がいる限り、われわれロータリアンは幸せになることはできない。」と述べて世界社会奉仕の概念を提唱しました。

(裏へ続く)



2016.2.18

Vol.53

No31

(2600)

世界社会奉仕の一つはロータリアンの世界的親交によって国際間の親善と平和を推進する活動で、ロータリー友情交換、親睦活動、国際青少年交換などです。もう一つの流れが人道的奉仕活動として、国際的援助活動で、活動により飢餓や貧困が原因となる国際紛争を抑止することが出来るならば、この活動は究極的には恒久の世界平和につながるものと考えられます。ロータリークラブも資金の制約で奉仕活動の実践が不可能な場合、その援助を外国の地区やクラブに求めることができます。ただ援助要請が来ても、我々は田中角栄みたいに、100万必要なら300万渡して、100万を返して100万で迷惑をかけた人に100万で自身の生活再建するような男前なことができませんので、本当に必要なプロジェクトかどうかは慎重に判断しなければなりません。

そしてロータリー友情交換が発展した国際奉仕プログラムの国際青少年交換は、青少年の人生経験が深まり、彼らが成人することで地域社会の指導者となったとき、その経験が世界平和、国際理解に生かされることが期待されています。私自身はホストファミリーとして青少年の受け入れをさせていただきましたが、ともに生活をする中で海外の文化や考え方の違いなどを理解するよい機会となりました。

■次週例会プログラム;クラブフォーラム;職業奉仕委員会